

90歳から詩作を始めた柴田トヨさん

1911～2013 詩人
明治から平成と
激動の時代を生きた



いいことありますよ
悪いことばかりじゃない
確かにいいこともありますから
それで生きていく

100歳の詩人と呼ばれた柴田トヨさん

日本舞踊が趣味であった柴田トヨさんは
腰を痛めて楽しみの踊りが出来なくなった。

90歳の時、一人息子のすすめで、詩を作り始めた。
日常の身の回り、日々の暮らしの中から感じたことを詩にしてきた。

99歳の時の作品、「くじけないで」飛鳥新社刊は190万部をこえるベストセラーとなった。

栃木県出身、101歳で没。

雲

大きい白い雲の後を

小さい白い雲が追いかけて行く

はぐれちゃダメよ

私 声をかけたの

NHK アーカイブス「あの人に会いたい」から File No.375 柴田トヨ(しばたとよ) 1911～2013詩人
100歳の詩人と呼ばれた柴田トヨ。詩集「くじけないで」は160万部を超えるベストセラーとなった。90歳をすぎて詩作を始め、詩集には、一人暮らしの心情が飾らない言葉で綴られている。柴田は明治44年、栃木県で米商人の家に生まれたが、父親が事業に失敗。10代の前半から奉公に出された。33歳で結婚、一人息子をもうける。以後、主婦のかたわら和裁の仕事で生計を助ける。81歳で夫を亡くし一人暮らしを続けていたが、文芸活動をしていた息子の勧めで詩作へ。作品が産経新聞の投稿欄「朝の詩(うた)」にたびたび掲載されたことで全国にファンが生まれた。2010年に出版された詩集「くじけないで」は世代を超えて多くの人々の共感を呼んだ。
東日本大震災の時に書いた、被災者を励ます詩は、避難所などに掲示され、人々の心の支えとなった。明治から平成と激動の時代を生きた柴田の、本人による詩の朗読を中心に「生きることの幸せ」が語られる。